

目的・目標

国内での実績があり国際展開が見込める複数のクリエイターを対象に育成事業を実践し、将来自立して国際展開ができる能力を涵養する。アーティストのほか、創作を支える技術者や制作者、批評家らを対象とした包括的な育成により、日本の舞台芸術の基盤を国際水準で強化する。そのプロセスと成果を、共有知としてウェブサイト等で公開・発信し、基礎知識データベースの強化も目指す。

概要

①指導・研修・創作、②ネットワーキング、③国外活動、④広報・営業・アーカイブの4つを軸とし、国際展開に必要な知見、ネットワーク、活動資料・広報体制等の基盤構築のための育成プログラムを実施。海外ツアーや国際共同制作実現に向け、知見の習得と国際性を養う。また国内外のメディアパートナーと連携して本事業のレポート記事や公演レビューを広く発信する。

（分野・ジャンル）

・舞台芸術（現代演劇）

（渡航先の国・地域）

・ドイツ、カナダなど

（国内外の連携・協力体制）

・京都EXPERIMENT、FTA (Festival TransAmériques)とのネットワーク

3年目までの取組

【1年目：国際展開に必要な知見、ネットワーク、活動資料・広報体制等の基盤構築】メンターの指導のもと、長期ビジョン構築、資料作成、現地視察、プレゼンテーション、特設サイト立上げ等を実施。

【2年目：国際的活動の具体化】企画の具体化、フランス・中国・ドイツ・韓国・カナダ等、活動地域の絞り込み、パートナーとの関係強化、資金調達等、各アーティストが具体的な計画に落とし込む。

【3年目：国際的活動の実現】実務フローの習得、現地メディアパートナーとの連携・発信強化等、海外でのツアー公演の実施や国際共同制作の実装に移る。



5年目までの取組



【4年目：国際的活動の展開】主体的・自律的な活動を国際的に展開していくことを可能にするための太い国際ネットワークを構築。共有知化した基礎知識をさらに国内の次世代アーティストに向けて発信。

【5年目：自立的な展開とさらなる育成へ】各クリエイターが6年目以降の新規国際事業の企画立案、国際的な資金調達・交渉、4年目までに実現した国際展開をさらに継続、実現するための調整ができる状態を目指す。

中核となるクリエイターやアドバイザー

中村茜(株式会社precog代表取締役)
NPO法人舞台制作者オープンネットワークON-PAM理事。
国際芸術祭「あいち2025」キュレーター(パフォーミングアーツ)。2021年令和3年度(第72回)文化庁芸術選奨。文部科学大臣賞新人賞【芸術振興部門】受賞。



育成対象者：16人

劇作家・演出家 8人
プロデューサー・制作者 3人
技術監督 2人
批評家 3人

(現在、日本国内を拠点に公共劇場等での活動実績があり、まだ国際展開のノウハウやネットワーク開拓が十分でない対象を選定した。)

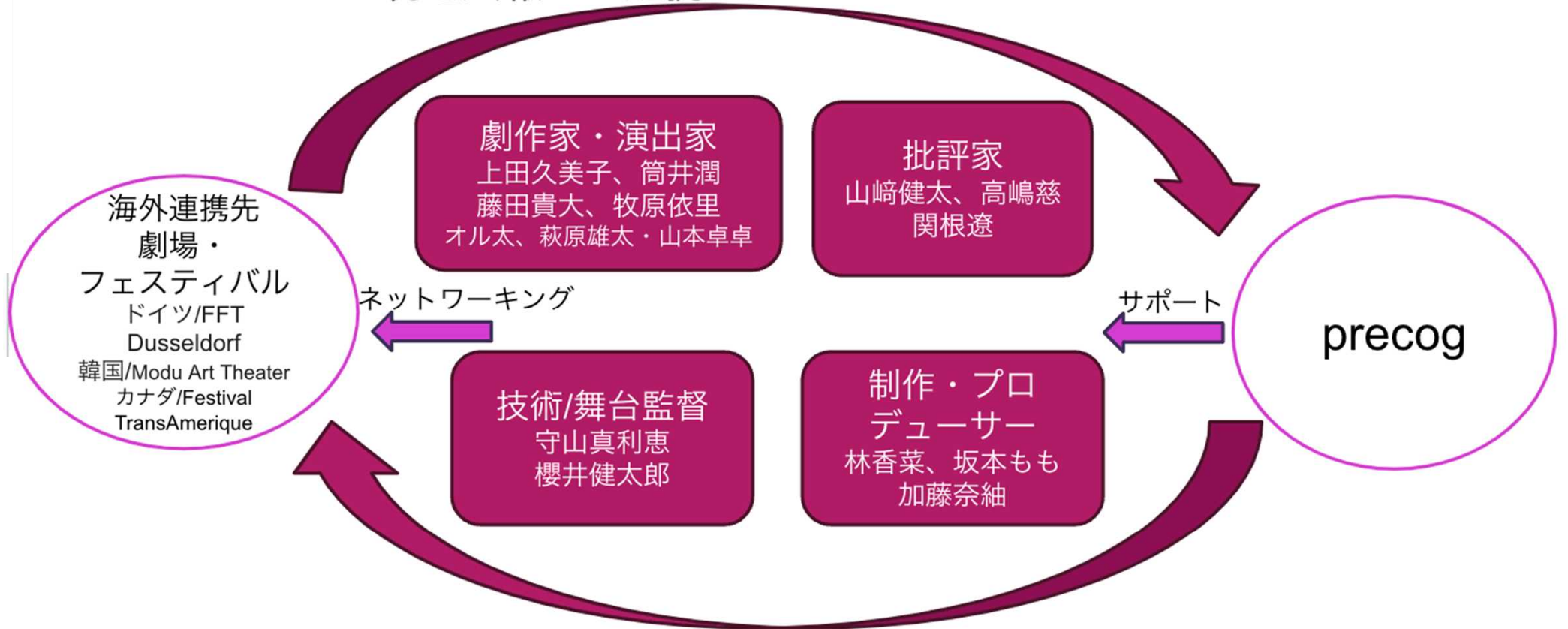
成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	20人
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）	8件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	10人
国内外で展開される公演・展示等の数	30回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	2,700人

【補足資料】

アーティストの育成/メンタリング
現地広報との連携



ニーズの把握
作品をプレゼンできる場の創出